

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年2月22日

| | | | | | |
|----------|--|--|---------|--------|--|
| 提出区分 | 実績 | 整理番号 | 14 | 課題区分 | C |
| 横断的な課題 | 松本地域の特性を活かした、2050ゼロカーボンの達成に向けた取組 | | | | |
| 地域重点政策 | | | | | |
| 実施機関 | 松本地域振興局環境・廃棄物対策課 | | | 担当課 | 所属 |
| 事業名 | 松本地域の特性を活かした環境教育の普及・啓発 | | | 所属 | 松本地域振興局環境・廃棄物対策課 |
| | | | | 電話 | 0263-40-1941 |
| | | | | E-mail | matsuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp |
| 事業概要等 | 目的 (目指す姿) | 2050ゼロカーボンの達成において、松本地域における指導者養成による環境教育の普及拡大 | | | |
| | 現状と課題 | 松本管内においては、管内市村を中心に、脱炭素化に向けた先進的・モデル的なプロジェクト(松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの設立(松本市ほか)、乗鞍高原「脱炭素先行地域」指定(環境省)、「創造の森」プロジェクト(生坂村))等が、各地域の環境や資源を活かして展開されているところである。 2050ゼロカーボンの達成に向け、特に次代を担う子供たちへの環境教育の普及拡大が課題であるが、現状は、環境教育の指導にあたる学校教員などに、指導者として必要な基礎知識を学習する機会を提供する必要がある。 | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | 教育現場で児童・生徒の指導にあたる小・中・高校等の学校職員を対象とし、地球規模の課題である気候変動問題やその対策である温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするゼロカーボンについて、指導者として必要な基礎知識を学習する機会を提供する。また、児童・生徒による環境問題に関する総合的な学習及び探究の時間などで教材として活用できる話題や事例を紹介する。 ○開催方法 Web 会議システムにより、1回の研修を45 分間、10 月から12 月まで月1回ずつ開催する。 ○日時及び内容 (1)第1回テーマ「気候変動とゼロカーボンの基礎」 日時:令和4年10月18日(火)16時~16時45分 講師:松本大学総合経営学部 中澤朋代准教授、自然エネルギーネットまつもと 平島安人代表 (2)第2回テーマ「長野県の自然と気候変動」 日時:令和4年11月15日(火)16時~16時45分 講師:中澤朋代准教授(再掲)、環境保全研究所 浜田崇主任研究員温暖化対策班長 (3)第3回テーマ「子どもたちと調べるゼロカーボン」 日時:令和4年12月13日(火)16時~16時45分 講師:中澤朋代准教授(再掲)、NPO地域づくり工房 傘木宏夫代表理事 | | | |
| | 事業期間 | 令和4年7月(講師との打合せ) ~ 令和5年2月(研修終了後の総括等) | | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 計画(実績)額 | 備考 | |
| | 教員を対象としたゼロカーボンに係る指導者養成研修会 | 研修会、打合せ | 106,600 | 講師謝金 | |
| | 研修会周知 | 通信費 | 10,650 | 切手代 | |
| 合計 | | 117,250 | | | |
| 指標及び達成状況 | 成果指標 | | 目標値 | 成果 | 達成状況 |
| | 研修会参加者満足度 | | 80%以上 | 100% | ○ 達成 |
| | 研修会延参加人数 | | 50人以上 | 延べ26人 | ● 一部達成 |
| | | | | | ○ 未達成 |
| 事業実績・成果 | 研修対象者が参加しやすいよう、10月から12月まで月1回ずつ、1回あたり45分間の連続講座とし、Web形式で開催したところ、参加者は延人数26人(実人数16人)であった。目標値は達成できなかったが、令和3年度実績(参集形式で1回の研修を実施し参加者3人)より大幅に増加した。また、3回の研修が終了した後に行った参加者アンケートでは、「構成が順序立てられており、理解しやすかった」、「実例をそのまま生徒に伝えることができる」など、すべての回答者が研修内容について評価するものだった。 | | | | |
| 今後の方向性 | 普及させるため継続性が必要である。広報を幅広く行うなどより工夫しながら実施したい。 | | | | |